



6.耐震管のボルト・ナットだけが何故ステンレス製なのですか？



ダクタイル鉄管の継手部に用いるボルト・ナットは、極めて特殊な用途の場合を除くと、強度的にはダクタイル製のものでもステンレス製のものでも使用可能です。耐震管は、K形などのメカニカル継手よりも後年に開発され、継手に伸縮および離脱防止という高機能を有しており、ボルト・ナットについてもより高い耐食性を有するステンレス製のが標準になっています。近年では、耐震管以外の管にも、合金製やステンレス製のボルト・ナットが使用される場合もあり、今後、各事業者の要望に合わせて使い分けられていくものと考えます。



印刷
ページ